

科目名 Course Name	カウンセリング応用 Advanced Counseling						
年次	2年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	小竹仁美						
連絡先(質問等)	本館2F 研究室か、メールで対応。オフィスアワーは授業担当時間および学生相談時間以外。						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP1,DP2						
授業の概要と到達目標	この科目は、さまざまな臨床場面で応用されているカウンセリングの理論と方法を学ぶ。 ① 各種療法の基礎理論を学び、説明できるようにする。 ② 各種療法を体験し、その効果を説明できるようにする。 ③ カラーセラピスト資格を取得できるようにする。						
授業の方法	講義形式と実習などの参加型形式。						
学習成果	L01	各種療法の基礎理論を説明できる。各種療法を通じて、自らの心と体の状態を知り、効果を説明できる。					
	L02	カラーセラピスト資格を取得できる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	授業参加態度、レポート、試験は実施後に各自にフィードバックする。						
教科書/参考図書	資料を配布する。						
履修上の留意点やルール等	●メディカルハーブ実習の材料費は自己負担である(4,000～5,000 円程度)。●アドバンスカラーセラピスト養成講座は別日程で実施する(受講希望者は 19,000 円必要)。●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。						
担当教員の実務経験	●実務経験(職種:臨床心理士 職歴 26 年、公認心理士 職歴 2 年)						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	S 評価は、実習に十分意欲的に取り組み、学習した技法を活用していることである。30%の配点である。	30			
レポート/作品	S 評価は、学んだ技法を実践し、授業内容を活かし、論理的に構成されていることである。40%の配点である。	30	10		
発表					
小テスト					
試験	正誤問題。S 評価は得点率 9 割以上。30%の配点である。	25	5		
その他					
合 計		85	15		

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス、アドバンスカラーセラピスト資格の説明、アドバンスカラーセラピー体験
	事前・事後学習	気分と色の関係について調べる
2	授業内容	カウンセリングの諸理論
	事前・事後学習	カウンセリングの諸理論を一覧表にまとめる
3	授業内容	心理検査等による自己分析
	事前・事後学習	心理検査の結果をみて、自分の行動や思考の傾向をまとめる
4	授業内容	アドバンスカラーセラピーの理論、実習、レポート①説明
	事前・事後学習	レポート①に取り組む
5	授業内容	メディカルハーブの総論
	事前・事後学習	メディカルハーブの歴史をまとめる
6	授業内容	メディカルハーブの各論①(ハーブの種類と効用)、映像視聴、ブレンドティー作り
	事前・事後学習	映像から学んだことを報告書にまとめる
7	授業内容	メディカルハーブの各論②(ハーブの活用法)、ブレンドティー作り、レポート②説明
	事前・事後学習	レポート②に取り組む
8	授業内容	投影法、描画療法(スクイグル法と物語作り)
	事前・事後学習	体験に基づき、描画療法の効果を考察する
9	授業内容	コラージュ療法の説明、コラージュ作成体験
	事前・事後学習	体験に基づき、コラージュ療法の効果を考察する
10	授業内容	グループエンカウンター体験
	事前・事後学習	体験に基づき、グループエンカウンターの効果を考察する
11	授業内容	臨床動作法の基礎理論と体験
	事前・事後学習	臨床動作法を実践し、記録する
12	授業内容	ストレスマネジメントの理論と実習
	事前・事後学習	ストレスマネジメントを実践し、記録する
13	授業内容	ストレスマネジメントの実習、レポート③説明
	事前・事後学習	レポート③に取り組む
14	授業内容	箱庭療法の理論と体験①、レポート④説明
	事前・事後学習	レポート④に取り組む
15	授業内容	箱庭療法の理論と体験②
	事前・事後学習	15回の授業で学んだ成果をまとめる